



今年 6 月に、弊社技術顧問の丸山修氏が公益社団法人日本技術士会会長表彰を受賞いたしました。この度の受賞は、長年にわたり山形県支部幹事として本会の発展に貢献し、さらに、山形県農業土木技術士会を設立し、会長として活動を通じて地域社会に貢献してきた功績が認められました。表彰状左の記念品は、有田焼の湯呑揃（香蘭社製）です。

今から 63 年前の、昭和 32 年 5 月 20 日に科学技術の向上と国民経済の発展に資することを目的として技術士法が制定されました。その翌年に第 1 回の試験が行われ、これまでに約 10 万人の技術士が誕生し、わが国の戦後復興、高度経済成長、科学技術立国に貢献してきました。

現在わが国は、新型コロナウイルス対策、気候変動により激甚化・頻発化する自然災害、少子高齢化による人口減少社会、老朽化が進むインフラの維持管理・更新等さまざまな課題が山積しています。これらを解決するためには、全体を俯瞰して多面的な観点から全体最適化を図る必要があります。

技術士は、産業経済、社会生活の科学技術に関するほぼ全ての分野を網羅しています。現代社会が直面している多くの課題を解決し、安全・安心で持続可能な社会を実現するために技術士の果たすべき役割は大きいと考えます。私たちは、これからも継続研鑽を重ね、良質な社会資本整備の一端を担い、地域社会に貢献していきたいと思っております。